

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	介護サービス事業者の調査、指導事務	2-11
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	保健福祉部高齢者支援課	直通電話	72-6121
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	沢田 茂明
		担当者	村上 弘晃

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	介護サービス事業者に対し、必要に応じ調査を行い、ケースによって指導等を行う。		
(2)事業開始年度	平成12年度	(3)事業終了年度	永続
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康でしあわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	自立支援サービスの充実	
	施策コード	20201	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	介護給付等対象サービスの質の確保と利用者保護及び保険給付の適正化を図るため。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	利用者が適切な介護サービスを受けることができるようにするため。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	介護サービス事業者に対し、必要に応じて調査を行い、ケースによっては指導等を行なう。また道が行なう監査に同行し調査を行なう。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	全国の市町村で行われている事務である。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源						
	区	分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)						
(2)その他の間接経費(千円)						
(3)従事正職員の人件費(千円)			3,453	3,314	3,588	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)			3,453	3,314	3,588	
事務に従事した正職員延べ人数			0.40	0.40	0.40	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区分	H17	H18	H19	H20予算	支	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
入						出					
	計(B)	0	0	0	0		計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
実地調査件数	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	0	0	2	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
実際に指導実施した事業者数	目標値	0	0	2	未設定
	実績値	0	0	2	
	達成率	-	-	100.0	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1)必要性		(4)有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	1	ア 施策との関連
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1	イ 成果
(2)効率性			ウ 事業内容
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	ウ 事業内容
(3)公平性			ウ 事業内容
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	ウ 事業内容
		(1)~(4)の評価ポイント合計	
		総合評価の参考にしてください。	
		7~11	A or B
		12~15	B or C
		16~21	D or E
		12	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1)平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)	適正に指導・監督を実施した。	
(2)今後の方向性・課題		指定権限等については、今後の課題と考えるが当面現状のとおり継続する。	
(3)平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1)平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)	良好な介護サービス提供に向けた事業所の指導・監督を適切に実施している。	
(2)今後の方向性・課題		良好な介護サービス提供に向けた指導・監督の強化を図る。	
(3)平成21年度の方向性			
:担当部長 (もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		